

# 日田小鹿田焼の里景観計画

景観行政団体になった日	平成19年4月
景観計画公示日	平成19年9月
面積	66,619 ha (うち区域内約302ha)
市人口	72,201 人 (うち区域内約 50 人)

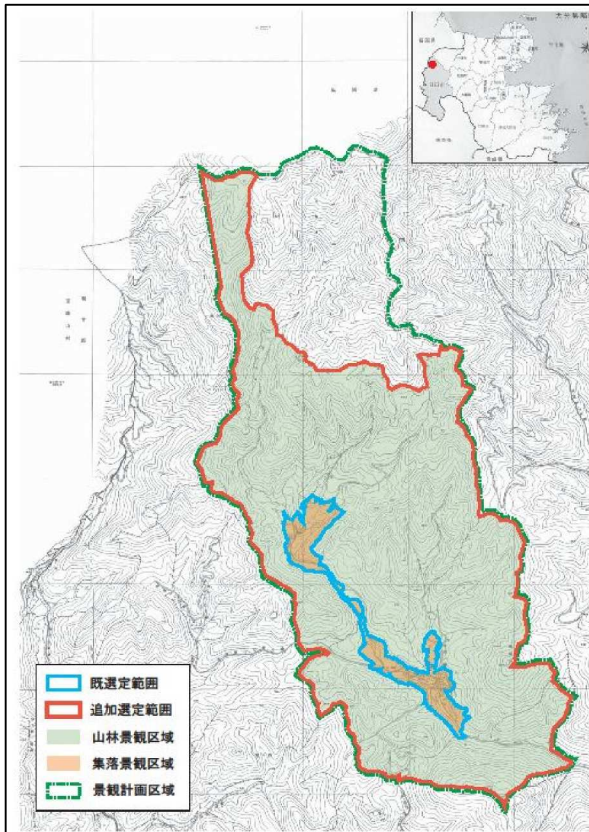
## 日田市の概況

本市は、周囲を阿蘇外輪山やくじゅう山系、英彦山系の美しい山々に囲まれ、月隈・日隈星隈の日田三丘などに見られるとおり、特徴的で起伏に富んだ地形を有しています。

また、1,000m級の津江山系の源流から流れ出る豊富な水流は、いくつもの河川を經由しながら日田盆地で合流しており、九州最大の河川である“筑後川”の上流部を形成しています。

一日の寒暖の差が大きく雨量も多いという内陸特有の気候であり、年間を通しての気温差

## 景観計画の区域について



### 【景観計画区域の概要】

日田市の中心部から北方約15kmに位置し、ほぼ全ての区域が「耶馬日田英彦山国定公園」の範囲になっており、豊かな自然に囲まれた区域です。

区域内には、国指定重要無形文化財「小鹿田焼」の製作地として知られる皿山地区の窯業集落景観と伝統的農法である棚田に見られる石垣が残り、今なお、生業として農業が続けられている農山村景観が特徴的です。

生業である窯業・農業を中心とした集落が形成されている地域を「集落景観地域」、その生業を支える周辺の山々の緑や河川の水を保全する地域を「山林景観地域」と位置付け、土地利用に応じた方針に基づいて、良好な景観を守り育てます。



## 良好な景観形成に関する方針

- 生業を支えた里、里山景観を保全します。
- 集落景観と窯場のたたずまいを継承します。
- 良好な景観の保全と協議等による景観形成を図ります。
- 来訪者への利便性向上を図ります。





## 届出対象行為

- ① 建築物、工作物等の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕、模様替え 若しくは色彩の変更
- ② 土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更
- ③ 木竹の植栽又は伐採
- ④ 屋外における物件の堆積



小鹿田焼” 登り窯”

## 行為の制限・内容

- ① 建築物の高さや形状、色彩、配置等について
- ② 工作物の構造や色彩、形状、規模(高さ等)について
- ③ 土地の形状変更時や伐採時における届出について
- ④ 立竹木等の伐採後の形状復旧(植栽や植樹)について
- ⑤ 採取した薪や陶土などの管理について



伝統的な鉤屋(L字型)形式の住宅

## 景観計画の特徴・取り組み事例

### 【重要文化的景観の選定】

江戸時代中期から伝統技法による製陶が営まれている皿山地区と狭隘な谷地において伝統的な石積みの棚田が残り、生業として農業が営まれ続けている池ノ鶴地区の集落景観区域は、今なお、その伝統と技法が、地域に脈々と受け継がれてきていることが高く評価され、“重要文化的景観”の選定を九州で最初(全国では5番目)に受けました。

集落と自然が一体となった生業を 今後も守り続けていくためには水や緑、土などの 地域資源との関わりが必要不可欠であり、集落や山林の景観を守り・育てていくことが重要な役割を担います。

このような地域特有の文化的景観を守り続けるために必要な措置を今後も講じていきたいと考えています。



窯業集落景観

建築物の階数は2階建て以下



池ノ鶴地区の棚田

伝統的な石積み擁壁の棚田

## 良好な景観の紹介

やまあいの集落に響き渡る唐臼が奏でる音色は”日本の音風景100選”にも選ばれています。

また、5月の小鹿田焼唐臼祭や10月の小鹿田焼民陶祭には、作陶体験や展示即売会が行なわれ、多くの観光客で賑わっています。唐臼の重厚で趣のある音色が響く”小鹿田焼の里”で、受け継がれる伝統文化を感じながら、ゆっくりとした時間をお過ごし下さい。



川の流れを利用した”唐臼”



伝統技法による作陶



石積み景観が残る棚田

### 【お問い合わせ先】

日田市 教育委員会 文化財保護課 文化財管理係  
TEL 0973-24-7171 FAX 0973-24-7024